

第1回チーム葦崎まちづくりミーティング

中学・高校生の一歩が 葦崎市の未来をつくる

NPO法人 河原部社

内藤久夫 葦崎市長

地方創生への取り組みが本格化するなか、本市では課題となつている若い世代の人口減少を抑制させるため、中学・高校生が、自らが住む地域への誇りと愛着を深め、将来的にふるさとへ回帰する心を醸成する「にらさき愛育成カムバック支援事業」に取り組んでおり、活動交流拠点となる「ミアキス」は10月9日のオープンに向けて準備が進められています。

そこで今回のまちづくりミーティングでは、「ミアキス」の運営を市から委託されたNPO法人河原部社（かわらべしや）の皆さんと内藤市長が事業にかける想いを語り合いました。



▲ホワイトボードなどを用いながらの意見交換の様子
8月25日（河原部社事務所屋上テラス）

自らの手で作る喜びを

「ミアキスは、中学・高校生の意欲を引き出し、主体性をもって行動するきっかけをつくることです。そのため10月のオープンに先駆けて、9月から施設の内装などの準備にも中学・高校生を巻き込みながら実施をする予定です。自分たちの手で作り上げることの喜びや感動を共有してもらいたいですね。」こう話すのは、河原社の理事の一人でミアキスの施設長を務める西田遥さん。西田さん自身も大学

生時代に学生が主体となって企画から運営までを行う交流スペースを開設するなど、こうした経験を本事業に活かしていければと強い意欲を見せてくれました。

**挑戦する前向きな想いを
受け止めたい**

河原部社の理事長で本市教育委員長へ就任した経歴も持つ松本恵子さんからは、現在までに登録された3名の高校生ボランティアスタッフのうち、ミアキスは僕たちがやりたいことが実現できる場所だから、という一人の高校生の志望動機にふれ、「中学・高校生の自主的な活動を応援するとともに、新たなことに挑戦する前向きな想いを受け止めることで、若者の可能性を広げていきたいです。」と事業に込めた想いをお話しいただきました。

**ポテンシャルを秘めた
若者がたくさんいる**

これに対し、内藤久夫市長は7月に行われた中学生を対象にした子ども議会を例に挙げ「議員として参加された中学生の堂々とした発言や考えに感動すら覚えました。葦崎は小さな自治体ですが、すばらしいポテンシャルを秘めた若者がたくさんいることに改めて自信を持ちました。葦崎の将来を担う若者が一人でも出てきてくれることを期待しています。」と河原部社の皆さんを激励しました。

NPO 法人河原部社プロフィール

葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画立案に携わった市民の方々が中心となって設立した団体。中高生の自立や地域との繋がりを支援することで、ふるさとへ回帰する心の醸成を図るための活動を行っており、本年4月からはカムバック支援事業の運営委託を受け、活動拠点となる「ミアキス」の開設準備を進めている。
(※ H28.4 設立 現在メンバーは5名)

ミアキスは、中学・高校生の自主的な活動を応援する県内初の施設として10月にオープンします。中学・高校生が主役になるこの取り組み。ミアキスを、葦崎市の未来を、なにより自らの無限の可能性を切り開くのは君たちだ！

**オープニング企画
ミアキス内覧会**

①10月9日(日)
11時30分～18時
②10月10日(月・祝)
9時～18時

ミアキスは中学・高校生の交流拠点ですが、この2日間は地域の大人の方々や保護者の方々も自由に見学ができます。

■場所 ニコリ地下1階
■問い合わせ
☎ 090-4838-9275